

事業シート(令和7年度予算)

事業名	21003 多様性推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	男女共同参画基本計画、人権施策推進指針、過疎地域持続的発展計画
						款	2	総務費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
						項	1	総務管理費			政策分野		着実な計画の推進		
						目	10	市民活動推進費			分野別 施策分野		市民協働・情報発信・多様性		
担当課	市民活動部 生涯学習課			内線	2350	市長公約 心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 多様性を尊重し合える社会を構築します									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・誰もが多様な生き方や働き方を選択することができ個性や能力に応じて活躍できる社会の実現を目指す。 ・高山市男女共同参画基本計画の着実な推進を図る。 ・高山市人権施策推進指針に基づき人権尊重の理念に対する理解を深める。 ・平和に対する意識の醸成を図る。	概要	・男女共同参画の推進 ・人権啓発活動の実施 ・多様性の推進に関する講演会の開催 ・パートナーシップ宣誓制度の推進 ・高山人権擁護委員協議会への助成 ・平和に関する啓発活動の実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「年齢や性別、障がいの有無、国籍などに関わらず、多様な生き方・暮らし方への理解が深まっている」と感じている市民の割合			

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
				2,116			
特定財源	国費 ()						
	県費 (人権啓発活動費)			485			
	その他 ()						
一般財源				1,631			
新規・拡充	主な事業内容						
	講演会の開催等による啓発			690			
	人権擁護委員協議会の活動支援			592			
	平和の日・平和都市宣言の啓発			100			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	2,031
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
2,031	2,031	2,031	△ 85
587	587	587	102
1,444	1,444	1,444	△ 187
査定額	説明		
660			
592			
100			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・多様性の推進に向けた意識啓発等に必要な経費を計上
---------------------	---------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94100 社会教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的發展計画
					款	9	教育費				ポイント	(1)		
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
					目	1	社会教育総務費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		
担当課	市民活動部 生涯学習課		内線	2350										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・社会教育の推進を図る。 ・地域づくり活動の充実に資する学びを推進することで、地域コミュニティの活性化を図る。	概要	・社会教育委員会議の開催 ・県や飛騨地区の研修会等への参加
----	--	----	----------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		2,276	893	2,156			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		2,276	893	2,156			
新規・拡充	主な事業内容						
	社会教育委員会議の設置	1,311	701	1,311			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	(千円)
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,237	1,237	1,237	△ 919
1,237	1,237	1,237	△ 919
査定額	説明		
892			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・社会教育委員会議の開催(4回) ※オンライン併用 ・県及び飛騨地区の研修会等への参加 ※オンライン併用
評価等	・生涯学習・社会教育活動について認識を深めるため、オンラインも併用しながら各種大会や研修会等へ参加した。 ・生涯学習施設の使用規定の緩和など、社会教育委員と意見交換等を行いながら取り組みを進めた。
次年度以降の考え方(担当課)	・各種施策の推進や各種計画の見直しにおいて、社会教育委員との意見交換等を行いながら、取り組みを進める。 ・社会教育委員の改選に伴い、より幅広い視点で各種施策の検討ができるよう青少年育成や家庭教育、文化振興に加え、スポーツ、市民活動、高等学校、特別支援学校などの分野のバランスも考慮した委員構成の見直しをすすめる。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・社会教育委員の活動に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94110 市民憲章推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
					目	1	社会教育総務費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		
担当課	市民活動部 生涯学習課		内線	2350										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民憲章の推進を図る。	概要	・高山市民憲章推進協議会への支援
----	--------------	----	------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		6,700	4,791	6,700			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		6,700	4,791	6,700			
新規・拡充	主な事業内容						
	高山市民憲章推進協議会の活動支援	700	700	700			
	高山市民憲章推進協議会の活動支援(花いっぱい運動)	6,000	4,091	6,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	4,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
4,700	4,700	4,700	△ 2,000
4,700	4,700	4,700	△ 2,000
査定額	説明		
700			
4,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・市民憲章推進協議会への支援 花苗配布 239団体 苗128,376株、花種配布 20団体 種7,760粒 フラワーコンクール 応募 52点 文化講演会 参加者数 230名 ※「今年の気象から見る災害への備え」講師 気象キャスター 寺尾直樹氏 施設の市民無料公開 32施設 来館者 4,232人 版画年賀状コンクール 応募 212点
評価等	・市民憲章推進協議会の活動を通じ、市民憲章の理念の浸透を進めている。 ・市民等が一体となって市民憲章の実施に取り組む必要がある。 ・小学生に出前授業を行い、市民憲章の目的が伝わる啓発を行った。 ・花苗の配付方法や地域の負担軽減に向けた役員数等の見直しを行った。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・花いっぱい運動のあり方など、事業全体の検証を行いながら、高山市民憲章の周知を図る。 ・施設の無料公開について、従来の歴史・文化施設に限らず、市民憲章全体の具現化に取り組むための事業になるよう見直しをすすめる。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・市民憲章の実践と推進に必要な経費を計上 ・市民が市内の施設を見学し地域の良さを再発見できる機会を提供するために必要な経費 など ・花いっぱい運動についてはフラワーコンクールの見直し等
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94200 文化会館管理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画
						款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
						項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します
						目	2	文化会館費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		
担当課	市民活動部 生涯学習課			内線	2361										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・文化会館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 ・市民の文化芸術の向上と福祉の増進を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営
----	--	----	------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	45.0%		
生涯学習施設利用者数(年間)	648,739人		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		172,331	162,894	133,403		
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、使用料)	40,061	40,144	58		
一般財源		132,270	122,750	133,345		
新規・拡充	主な事業内容					
	市民文化会館の管理運営	125,259	120,093	127,893		
	施設整備・備品購入	47,072	42,801	5,510		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・指定管理者による施設の管理運営 ・利用状況 利用件数 5,770件(市民文化会館:1,279件、市公民館:4,491件) 利用者数 181,980人(市民文化会館:82,520人、市公民館:99,460人) ・施設整備 給水ポンプ改修、非常用照明蓄電池更新、調光操作卓購入 ほか
評価等	・施設の利用についてコロナ禍から回復傾向にあるが、依然としてホールの利用は回復していない。 ・ニーズに対応した運用を図る必要がある。 ・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けた整備を行う必要がある。 ・駅西地区のまちづくりに合わせ、複合化・多機能化などの検討をすすめた。 ・施設の使用規定の緩和に向けた取り組みを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・施設の使用規定の緩和などにより、より一層の利用促進を図る。 ・防火シャッターの改修など必要な整備を実施する。 ・駅西地区まちづくり構想に基づき、具体的な機能等の検討をすすめる。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	130,138
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額	増減 (d)-(c)
128,610	130,138	130,138	△ 3,265
82	58	58	0
128,528	130,080	130,080	△ 3,265
査定額	説明		
127,638			
2,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・文化会館の管理運営に必要な経費を計上 ・文化会館の施設整備(インターカム設備更新)に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94300 公民館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり			
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します	
					目	3	公民館費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術			
担当課	市民活動部 生涯学習課			内線	2350										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公民館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 ・市民の生涯学習及び交流をはじめとする、多様な活動の推進を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営
----	--	----	------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	45.0%		
生涯学習施設利用者数(年間)	648,739人		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		58,962	56,119	74,240		
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(使用料、土地貸付収入 等)	6,808	6,682	11,710		
一般財源		52,154	49,437	62,530		
新規・拡充	主な事業内容					
	公民館の管理運営	53,386	51,199	49,410		
	施設整備・備品購入	5,576	4,920	24,830		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・指定管理者による施設の管理運営(13施設のうち5施設) ・利用状況 利用者数 178,136人(高山市公民館を含む) 公民館登録団体数 156団体 ・施設整備 一之宮公民館高圧設備改修 ほか
評価等	・施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 ・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けて施設整備を行った。 ・定期報告等に基づく施設整備を行う必要がある。 ・公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合や多機能化を検討する必要がある。 ・公民館登録団体と体育施設利用登録団体の制度の統合や使用規定の一部緩和に向けた取り組みを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	・施設の使用規定の更なる緩和や施設予約システムの導入などにより、より一層の利用促進を図る。 ・水銀灯からLED照明への切替など必要な整備を実施する。 ・公共施設等総合管理計画に基づく施設の整理をすすめる。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	89,130
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
80,554	89,130	89,130	14,890
1,345	1,345	1,345	△ 10,365
79,209	87,785	87,785	25,255
査定額	説明		
62,360			
26,770			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・公民館の管理運営に必要な経費を計上 ・公民館の施設整備(LED改修等)に必要な経費を計上 ・秋神研修センターの解体に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94400 女性青少年会館等管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
					目	4	女性青少年推進費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		
担当課	市民活動部 生涯学習課		内線	2350										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・女性青少年会館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 ・勤労青少年ホームを活用した各種事業の実施により、青少年の健全育成を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営
----	---	----	------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	45.0%		
生涯学習施設利用者数(年間)	648,739人		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		20,330	20,062	26,040		
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(使用料、敷地占用料)	18	21	18		
一般財源		20,312	20,041	26,022		
新規・拡充	主な事業内容					
	女性青少年会館・勤労青少年ホームの管理運営	19,930	19,688	23,540		
	教養講座の開催					
	施設整備・備品購入	400	374	2,500		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・施設の管理運営 各種講座等を実施 勤労青少年ホームと合わせて17,731人が利用 ・施設整備 落雪防止ネット設置 ほか
評価等	・施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 ・駅西地区のまちづくりに合わせ、複合化・多機能化などの検討をすすめた。
次年度以降の考え方 (担当課)	・施設のより一層の利用促進を図る。 ・冷暖房器具の更新など必要な整備を実施する。 ・駅西地区まちづくり構想に基づき、具体的な機能等の検討をすすめる。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	29,660
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
27,638	29,660	29,660	3,620
18	18	18	0
27,620	29,642	29,642	3,620
査定額	説明		
25,560			
4,100			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・94405勤労青少年ホーム運営事業費を統合 ・女性青少年会館の管理運営に必要な経費を計上 ・勤労青少年ホームの運営(教養講座の開催)に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94405 勤労青少年ホーム運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
					目	4	女性青少年推進費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2350										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・勤労青少年ホームを活用した各種事業等の実施により、青少年の健全育成を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営 ・勤労青少年ホーム利用連絡会の活動に対する支援
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		4,100	4,069	4,100			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		4,100	4,069	4,100			
新規・拡充	主な事業内容						
	勤労青少年ホームの管理運営	3,950	3,944	4,100			
	勤労青少年ホーム利用連絡会の活動に対する助成	150	125	0			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・施設の管理運営 各種講座等の実施 女性青少年会館と合わせて17,731人が利用 ・勤労青少年ホーム利用連絡会の活動に対する助成
評価等	・施設を広く知ってもらい利用促進につなげるため、市内の高等学校と連携した取り組みを行った。 ・駅西地区のまちづくりに合わせ、複合化・多機能化などの検討をすすめた。
次年度以降の考え方 (担当課)	・施設のより一層の利用促進を図る。 ・駅西地区まちづくり構想に基づき、具体的な機能等の検討をすすめる。 ・勤労青少年ホーム利用連絡会の活動に対する支援のあり方について見直しを行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	-
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
			△ 4,100
			△ 4,100
査定額	説明		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・94400女性青少年会館等管理事業費に統合
---------------------	------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94410 青少年健全育成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
					款	9	教育費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり			
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約		
					目	4	女性青少年推進費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術			
担当課	市民活動部 生涯学習課		内線	2361											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・青少年健全育成団体の支援等を通じて、健全な青少年を育成する。	概要	・青少年健全育成活動 ・青少年健全育成団体の活動に対する助成
----	---------------------------------	----	-----------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		2,130	1,925	1,960			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		2,130	1,925	1,960			
新規・拡充	主な事業内容						
	青少年育成推進員による青少年の育成活動	410	401	410			
	青少年健全育成団体の活動支援	1,630	1,517	1,500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	1,930
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,917	1,930	1,930	△ 30
1,917	1,930	1,930	△ 30
査定額	説明		
380			
1,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・青少年健全育成活動 少年補導センター補導員研修会(オンライン併用) 参加者67人(会場26人、オンライン41人) ・青少年健全育成団体の活動に対する助成
評価等	・青少年健全育成団体、町内会、まちづくり協議会の連携強化を図る必要がある。 補導員研修会や少年の主張コンクールなどオンライン配信し、より多くの方に視聴いただくことができた。 ・補導センター運営委員会について、関係団体の負担軽減を図るため組織の見直しを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	・青少年健全育成団体など、社会の変化に応じた活動のあり方を協議・検証しながら取り組みを進める。 ・高山少年補導センターを高山市青少年育成市民会議に統合する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・青少年育成推進員の活動に必要な経費を計上 ・青少年育成団体の活動支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94420 二十歳のつどい開催事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	9	教育費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり			
						項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約		
						目	4	女性青少年推進費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術			
担当課	市民活動部 生涯学習課			内線	2350											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・「二十歳のつどい」を開催する。 ・旧友と近況を語らい、今後に向かって励まし合う場を提供する。 ・地元高山市を意識し、地域社会への参加を考える機会とする。	概要	・高山地域は全中合同で支所地域は中学校区で実行委員会を組織し二十歳のつどいを開催 ・市内の事業者や団体と連携して開催し、地元企業情報や就職・起業支援情報等を二十歳の若者に対して発信
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		3,000	2,968	3,000			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		3,000	2,968	3,000			
新規・拡充	主な事業内容						
	式典の開催	3,000	2,968	3,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	(千円)
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
3,000	3,000	3,000	0
3,000	3,000	3,000	0
査定額	説明		
3,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・各地域ごとに組織された実行委員により、市内9会場で開催 ○令和5年度対象者 令和6年1月開催 対象者928人のうち、763人参加
評価等	・形式的な式典を短縮し、友人や恩師、家族の交流を重視した内容とし、若者の交流や出会いの機会を提供することができた。 ・高山へのアイディアを募集することで、地域への思いを伝えられる場を提供することができた。 ・民間事業者団体と連携し、地元企業の情報などを発信する機会とすることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・地元高山市を意識し、地域社会への参画を意識する機会とするための事業内容を検討する。 ・民間事業者等と連携した取り組みをすすめる。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・二十歳のつどい開催に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94500 図書館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
					目	5	図書館費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2397										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・図書館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 ・市民の多様な学習活動を促進し、広く文化的風土を醸成することで市民の教育文化の向上を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営
----	---	----	------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	45.0%		
生涯学習施設利用者数(年間)	648,739人		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		207,544	207,165	239,240			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(雑入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)		31	0			
一般財源		207,544	207,134	239,240			
新規・拡充	主な事業内容						
	図書館の管理運営	206,187	205,809	236,440			
	施設整備・備品購入	1,357	1,356	2,800			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・指定管理者による施設の管理運営 ・利用状況 蔵書数 313,316点 利用登録者数 18,861人 貸出利用者数 130,256人(延べ) 貸出点数 377,600点 ・施設整備 除湿器更新 ほか
評価等	・市民ニーズや地域課題等の変化に応じて資料の購入や配本ができるよう選書方針を定めた。 ・市民アンケートを実施し、普段図書館を利用しない市民も含めて幅広いニーズの把握に努めた。 ・交流スペース、ファミリースペース、一之宮分館位山分室を整備し、本を借りる以外にも様々な目的で図書館に来てもらう取り組みなどをすすめた。 ・資産形成講座など、時代のニーズに合わせた講座を開催した。 ・施設の使用規定の緩和に向けた取り組みを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	・選書委員会のあり方を検討する。 ・施設の使用規定の緩和などにより、より一層の利用促進を図る。 ・郷土近代文学資料研究事業について、R7年度末までを目途として資料の整理を進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	297,070
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
291,857	297,070	297,070	57,830
10	0	13,000	13,000
291,847	297,070	284,070	44,830
査定額	説明		
253,270			
43,800			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・図書館の管理運営に必要な経費を計上 ・図書館の施設整備(空調設備改修、LED改修、外壁塗装)に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94600 文化芸術振興事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、文化芸術振興指針、過疎地域持続的発展計画
						款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
						項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します
						目	6	文化振興費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		
担当課	市民活動部 生涯学習課			内線	2361										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民の主体的な文化芸術活動を支援する。 ・文化芸術の振興を図る。	概要	・市民主体の文化芸術活動に対する支援 ・美術展覧会等の開催 ・文化芸術に触れる機会の提供 ・こども夢創造事業(文化芸術)の実施
----	--------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	45.0%		
生涯学習施設利用者数(年間)	648,739人		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		16,246	11,819	51,400		増減(b)-(a)
特定財源	国費(文化振興支援事業費)		738			
	県費					
	その他(文化振興事業雑入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	10,000	10,000	5,020		
一般財源		6,246	1,081	46,380		
新規・拡充	主な事業内容					
	文化芸術活動に対する助成	10,500	7,697	10,500		
	市美術展覧会・市所蔵美術品展の開催			4,350		
	市民、小学生を対象とした文化芸術鑑賞			22,000		
	飛騨春慶弦楽器の活用	2,000	2,000	2,000		
	こども夢創造事業(文化芸術)			2,000		
	「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催	840	382	10,100		
	エンジン02in岐阜の開催	2,146	1,476			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・高山市文化芸術振興激励金:14件(個人11名、団体3件) ・「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催準備 ・エンジン02in岐阜の開催(参加者数:計900名) ・飛騨春慶弦楽器演奏会の開催 地域の公民館や木工芸術スクール、寺院など10会場において計11回開催(参加人数:計722名) ・文化芸術活動支援事業補助金:12件(継続5件、創造7件)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定
評価等	・「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催に必要な企画及び関係機関・団体との連絡調整等を行うとともに、開催機運の醸成のため広報活動を展開した。 ・エンジン02in岐阜について県と連携し実施することができ、参加者のアンケートでは9割超が高評価と回答した。 ・市民が主体的に行う文化芸術活動に対し、新たな助成制度を設けるなど支援体制を強化した。 ・飛騨春慶弦楽器活用を文化団体に委託したことで、市内各地の多様な会場で多くの市民が音楽に親しむ機会を提供することができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・市民が主体となって行う文化芸術活動に対する支援策を強化していく。 ・市民、市、多様な団体が連携して文化芸術の振興を図っていくため、美術展覧会等開催事業費と文化芸術鑑賞事業費を文化振興支援事業費に統合し、名称を文化芸術振興事業費として事業計上する。	

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定
評価等		
次年度以降の考え方(担当課)		

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	42,190
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
41,688	41,690	42,190	△ 9,210
20	20	20	△ 5,000
41,668	41,670	42,170	△ 4,210
査定額	説明		
10,500			
4,740			
22,000			
2,000			
2,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・市民の主体的な文化芸術活動に対する支援に必要な経費を計上 ・美術展覧会等の開催に必要な経費を計上 ・優れた文化芸術に触れる機会を提供するために必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査 ・こども夢創造事業に必要な経費を計上

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94620 文化伝承館管理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画
						款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
						項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します
						目	6	文化振興費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		
担当課	市民活動部 生涯学習課			内線	2361										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・文化伝承館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 ・市民の間に深く根付いてきた伝統文化を学び、親しみ、伝承するとともに、市民の文化意識の高揚を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営
----	---	----	------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	45.0%		
生涯学習施設利用者数(年間)	648,739人		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		4,170	4,169	5,020			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		4,170	4,169	5,020			
新規・拡充	主な事業内容						
	文化伝承館の管理運営	4,170	4,169	5,020			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	(千円)
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
5,018	5,410	5,410	390
5,018	5,410	5,410	390
査定額	説明		
5,410			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・指定管理者による施設の管理運営 ・利用状況 利用者数 878人
評価等	・施設の利用についてコロナ禍から回復傾向にあるが、施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 ・施設の使用規定の緩和に向けた取り組みを行った。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・施設の使用規定の緩和などにより、より幅広い目的での利用促進を図る。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・文化伝承館の管理運営に必要な経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94900 生涯学習推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	優しく！～周りを敬うやさしさ～ 子どもたちが充実した将来を迎えることができるための教育環境を整えます。
					目	9	生涯学習推進費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2361										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・生涯学習機会の提供と充実を図る。	概要	・こども夢創造事業(科学)の実施 ・多様な生涯学習情報の提供
----	-------------------	----	-----------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	45.0%		
生涯学習施設利用者数(年間)	648,739人		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		2,980	1,581	1,530		
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金					
一般財源		2,980	1,581	1,530		
新規・拡充	主な事業内容					
	こども夢創造事業(科学)	2,790	1,581	1,510		
○ 1	生涯学習情報プラットフォームの構築及び運用					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・子ども夢創造事業の実施(6回、330人) 科学ひろば 参加者231人 施設見学(御母衣ダム・発電所) 参加者7人 施設見学(京都大学飛騨天文台) 参加者21人 クルマを楽しく学ぼう@高山自動車短大 参加者8人 ものラボワークショップ 参加者30人 環境科学実験教室 参加者33人 ・放送大学岐阜学習センター高山分室の管理運営(学生数60人、新規入学者17人)
評価等	・子ども達が科学やものづくりを通じて将来の夢や職業意識を育むことができるような事業を開催した。 ・子ども夢創造事業(施設見学)において、世界的な最先端技術を児童が体験できる機会を創出した。
次年度以降の考え方(担当課)	・各種広報媒体を活用し、様々な生涯学習情報の発信を行う。 ・子どもたちが、科学技術にふれる機会を提供するため、企業や団体の協力による直接体験の機会を充実する。 ・子ども夢創造事業の実施方法や実施内容について見直しを行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	4,510
要求額	財務部査定額(d)	市長査定額	増減(d)-(c)
4,509	4,510	4,510	2,980
		1,000	
4,509	4,510	3,510	2,980
査定額	説明		
1,510			
3,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・生涯学習機会の提供に必要な経費を計上 ・多様な学習情報やイベント情報を提供するプラットフォームの構築及び運用に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

12_生涯学習課.xlsx_14

事業名	94900生涯学習推進事業費	区分	☐ R6新規	☒ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	市民活動部 生涯学習課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	9	教育費		
枝番・内容	1生涯学習情報プラットフォーム構築及び運用		☐ その他重要事業			項	4	社会教育費		
			☐			目	9	生涯学習推進費		
									内線	2361
									作成年月	R7.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	市民に多様な学びの機会の情報を提供する。	概要	・多様な主体が提供する様々な学習情報やイベント情報を収集し、一元的に発信する情報プラットフォームの構築及び運用
----	----------------------	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	3,000
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		3,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
○概要 市の主催事業に限らず、多様な主体が実施する学習情報やイベント情報を収集し、市民がそれぞれのニーズに応じて情報の検索ができる「情報プラットフォーム」をオンライン上に構築し運用する。	
○発信する学習情報やイベント情報 ・公共的団体や指定管理者が実施するもの ・市が後援や共催、補助金の交付等をしているもの ・市に登録している市民活動団体等が実施するもの など	
[スケジュール] ・R7年4～6月 プラットフォームの具体的な仕様や運用の検討、契約 7～9月 プラットフォーム構築 10月～ 運用開始	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94910 家庭教育充実事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
					款	9	教育費			ポイント				
					項	4	社会教育費			政策分野	2			こども・教育・交流
					目	9	生涯学習推進費			分野別 施策分野	(2)			学校教育
担当課	市民活動部 生涯学習課		内線	2361										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・学校や地域との関わりの中で教え学び合えるつながりのある家庭教育を促進する。 ・PTAが行う、親子の学び合いやふれあい活動を支援する。	概要	・家庭教育講座の開催 ・市PTA連合会の活動に対する支援
----	--	----	---------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「子どもが健やかに育つ環境が整っている」と感じている市民の割合	60.1%		
子どもの健全育成を図る活動を行う市民活動団体登録件数	38団体		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		1,140	635	890		
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		1,140	635	890		
新規・拡充	主な事業内容					
	講演会・講座の開催	680	226	480		
	市PTA連合会の活動支援	310	310	310		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・家庭教育講座の開催支援 市・学校・PTA等で186回の講座・講演会等を開催。うち「学ぶPTA」を7校で実施 ・PTA連合会の活動に対する助成
評価等	・学校やPTAと連携し、保護者を対象とした家庭教育講座の開催を支援した。 ・市PTA連合会の研修会をオンライン開催とし、保護者のニーズに応じた学びの場を提供できるよう支援した。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・家庭教育の学習機会の提供と充実を図る。 ・地域・学校・各種団体が連携した家庭教育を推進する。 ・PTAがより良い活動ができるよう団体を支援する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	890
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
884	890	890	0
884	890	890	0
査定額	説明		
480			
300			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・家庭教育の学習機会の充実に必要な経費を計上
---------------------	------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94920 生涯学習施設等管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します
					目	9	生涯学習施設推進費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		
担当課	市民活動部	生涯学習課	内線	2350										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・生涯学習施設の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 ・市民の文化芸術の向上と福祉の増進を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営
----	--	----	------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	45.0%		
生涯学習施設利用者数(年間)	648,739人		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		44,152	40,035	40,795			
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(使用料)	5	22	5			
一般財源		44,147	40,013	40,790			
新規・拡充	主な事業内容						
	生涯学習施設等の管理運営	40,755	36,638	36,155			
	施設整備・備品購入	3,397	3,397	4,640			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・指定管理者による施設の管理運営(2施設) ・利用状況 利用件数 754件 利用者数 30,406人 ・施設整備 国府文化ホールワイヤレスマイク機器更新
評価等	・施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 ・施設の使用規定の緩和に向けた取り組みを行った。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・施設の使用規定の緩和などにより、より一層の利用促進を図る。 ・水銀灯からLED照明への切替など必要な整備を実施する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	39,865
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
37,747	39,865	39,865	△ 930
5	5	5	0
37,742	39,860	39,860	△ 930
査定額	説明		
39,865			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・生涯学習施設等の管理運営に必要な経費を計上
---------------------	------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり